

## 3. ボランティアリーダー育成事業

ボランティア・NPO 活動センターでは、本学学生を対象にボランティアに関する各種講座を実施しています。入門編として、ボランティアについての基礎的な講義とボランティア体験を行う「ボランティア入門講座」、応用編として、センターを運営する学生スタッフや既にボランティア活動を行っている学生を対象に、スキルアップや組織運営の向上を目指した「ボランティアリーダー養成講座」や「ボランティアコーディネーション力3級検定」(共催：日本ボランティアコーディネーター協会)を実施しています。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の対策をしながら、対面での実施に努めました。

事業名	ボランティア入門講座
実施日程	動画公開：2022年5月9日(月)～体験終了：2022年8月23日(火)
参加人数	・『動画で学ぶ！ボランティアのキホン』視聴後のアンケート回答者数 71名 ・『団体の話を聴こう』参加者数 合計140名(延べ人数) ・『ボランティア体験』『活動のふりかえり』参加人数 合計49名
協力団体数・活動回数	7団体にて計10回活動 ※次頁より各活動先の報告を掲載

### 1. 経緯・目的

毎年実施している本講座ですが、2019年度までは①ボランティアの基本を学ぶ座学、②ボランティア体験、③ふりかえりという流れで、ほぼ前期をかけて実施してきました。

2020～2021年度は、①をオンラインLIVEで行いましたが、2022年度は新しい試みとして、①はオンデマンドの動画視聴とし、次に活動について受入団体の方からの直接お話を聴く『団体の話を聴こう』を設けました。これは、その後のボランティア体験に向けたガイダンス的な位置づけであるとともに、ボランティア団体の理念や活動内容を学生自身が理解して参加することを目的としています。

また、ボランティア体験が学期中の場合、活動終了後はセンターに個別来室してふりかえりを行うことで、体験活動への継続を確認したり、別の活動を紹介するなど、個々にあったコーディネーションになることも目指しました。

### 2. 概要

以下のプログラム構成で行いました。

- ①『動画で学ぶ！ボランティアのキホン』(全5動画)を見て、アンケートに回答する(視聴のみも

可)

動画1：ボランティア入門講座について

動画2：ボランティアって何だろう？

動画3：ボランティアの魅力や活動の種類

動画4：ボランティア・NPO活動センターの紹介

動画5：受講後のボランティア体験

- ②『団体の話を聴こう』に参加する(要申込/話を聴くのみでも可)
- ③話を聴いた後、体験を希望する場合は応募する(①のアンケートに回答していることが条件/定員あり)
- ④『ボランティア体験』に参加する(ボランティアリーダーとして学生スタッフ1～2名が協力)
- ⑤センターで個別に活動をふりかえる(夏期休暇中の活動は、活動日当日にふりかえり)

### 3. 受講者の声・得られた効果など

【受講者の感想(一部)】

- ・体験談を聞いてボランティア活動を行う動機は人それぞれでも、達成感が得られたり成長できることがわかった。学生のうちに参加してみたいと思った。
- ・自分の意志で自主的に行うのがボランティアだと

わかりました。これから自分がやりたいと思ったボランティアには積極的に参加していきたいと思いました。

#### 4. コーディネーター所感

講座を動画配信したことで、いつでも学びたい時に学べるような仕組みをつくることができました。一方、講座を打ち出したタイミング以外では視聴数は増えておらず、周知については課題が残りました。今年度新たに取り組んだ『団体の話を聴こう』については、ボランティア募集团体の方と出会い、活動に対する思いなどを聴くことができ、ボランティアに興味がある学生にとっては、イメージがしやすくなったたり、学びの多い機会だったのではないかと思います。

います。

ボランティア体験は、例年、「良い経験になった」と感想を述べる学生が多くいます。個別のふりかえりをする中で、その経験を今後どう活かしていくかについて丁寧に対応することができたと思っています。しかし、ふりかえり以降についての学生の状況は不明です。この講座は、ボランティアや社会に関心をもつためのきっかけの提供が第一目的ではありますが、一步踏み出したその後を支援していく仕組みについても考えていきたいと思っています。

〈報告者：國實 紗登美

(瀬田キャンパス コーディネーター)〉

ボランティアプログラム先	NPO 法人りあん（日中一時支援事業らて）
団体の話を聴こう	2022年 5月23日（月）17時15分～18時30分／参加者16名 @瀬田キャンパスおよびオンライン
ボランティア体験	2022年 7月10日（日）・8月9日（火）・8月23日（火） いずれも 13時00分～15時00分／参加者2名（計6名） @ NPO 法人りあん（滋賀県大津市）
活動のふりかえり	各体験日および随時／体験参加者全員 @ NPO 法人りあん・各キャンパスのボランティア・NPO 活動センター

### 1. 概要

#### 【団体の話を聴こう】

法人職員2名と利用者1名の計3名の方にお越しいただき、法人の思い、障がい者が地域で暮らすことや日中一時支援事業での取り組みについて、職員・利用者のそれぞれの立場からお話いただきました。

#### 【ボランティア体験】

自由に過ごしておられる利用者さんのペースに合わせて一緒にゲームやカラオケをしたり、おしゃべりなどをして過ごしました。また、現場の職員をまじえたふりかえりを行い、質問の時間をとりました。

- ・障害福祉は興味があって希望したので、体験できてよかったが、もっといろいろな人と話してみたらよかったかなと思っている。また来てみたい。他の障害福祉の活動も気になる。



### 2. 参加者の声・得られた効果など

- ・ボランティアは何かをしてあげる、助けてあげると思っていたけれど、一緒に遊んだり、ただ話を聴くだけというのも立派なボランティアだと知れてよかった。

ボランティアプログラム先	下京青少年活動センター
団体の話を聴こう	2022年5月31日(火) 17時15分～18時30分／参加者28名 @深草キャンパスおよびオンラインにて実施
ボランティア体験	2022年6月18日(土) 10時30分～13時30分／体験参加者9名 @下京青少年活動センターおよび近隣の道路
活動のふりかえり	2022年6月20日(月)～30日(木) 随時／体験参加者全員 @各キャンパスのボランティア・NPO 活動センター

## 1. 概要

### 【団体の話を聴こう】

ユースワーカーの石川さんより、京都ユースサービス協会や青少年活動センターの目的や取り組み内容等についてお話いただきました。



### 【ボランティア体験】

下京青少年活動センターの取り組みの一つである1Day ボランティアの清掃活動の体験として、センター周辺のごみ拾いをしながら、参加者と交流しました。

## 2. 参加者の声・得られた効果など

一般の参加者とも話ながら活動ができたので、とても楽しかった。今回参加してみて、清掃活動のイメージが変わった。活動後は道端に落ちているゴミが気になり、町中のゴミも誰かがこうやって清掃してくれているのだと感じた。

ボランティアプログラム先	コジカレーベル
団体の話を聴こう	2022年5月26日(木) 17時15分～18時30分／参加者17名 @深草キャンパスおよびオンライン
ボランティア体験	2022年8月19日(金) 8時30分～13時00分／体験参加者4名 2022年8月19日(金) 13時00分～18時00分／体験参加者4名 @京都市北文化会館(京都市北区)
活動のふりかえり	各体験日および随時／体験参加者全員 @京都市北文化会館(京都市北区)

## 1. 概要

### 【団体の話を聴こう】

代表であり、本学非常勤講師でもある小島寛大先生より団体の理念や活動内容について過去の活動時の映像も交えてお話をいただきました。

### 【ボランティア体験】

参加者の子どもたちと一緒に貴重な楽器を弾いたり、実際に子どもたちが楽器を作るサポートなどをここない、賑やかな楽しい時間を過ごしました。



## 2. 参加者の声・得られた効果など

- ・ボランティアのことだけでなく、どのような思いを持たれて活動されているのかまでを知ることができてよかったです。

- ・初めてのボランティアでしたが、いつの間にか自分も夢中になっていて自然と子どもたちに話しかけられたりサポートできて、時間があっという間に過ぎてすごく楽しかったです。

ボランティアプログラム先	宝ヶ池プレイパーク
団体の話を聴こう	2022年5月27日（金）17時15分～18時30分／参加者29名 @オンライン
ボランティア体験	2022年6月19日（日）9時30分～16時30分／参加者12名 @宝ヶ池子どもの楽園（京都府京都市）
活動のふりかえり	各体験日および随時／体験参加者全員 @宝ヶ池子どもの楽園・各キャンパスのボランティア・NPO 活動センター

## 1. 概要

### 【団体の話を聴こう】

宝ヶ池プレイパークの野田さんとオンラインで繋ぎ、活動理念や目的、宝ヶ池プレイパークの特徴や環境問題がパークに及ぼす影響等についてお話をいただきました。



### 【ボランティア体験】

当日は訪れた子どもたちと紙飛行機やフラフープ、綱引き、けん玉などで遊び、子どもたちと積極的に関わりました。

## 2. 参加者の声・得られた効果など

- ・参加する前は、子どもたちに楽しい思い出を作ってもらおうことが目的だと思っていました。ですが、本日のお話をお聞きして、それだけではなく環境問題なども関わっていることを知り、興味深いと感じました。
- ・子どもたちから気さくに「お姉ちゃん」と呼ばれたのがうれしかった。大勢で遊んでいる子に対しては積極的に声かけできたが、1人でポツンという子には何と声をかけていいか分からなかった。次回にはできるようになりたい。



ボランティアプログラム先	京都風緑
団体の話を聴こう	2022年5月31日(火) 17時15分～18時30分／参加者31名 @深草キャンパスおよびオンライン
ボランティア体験	2022年6月11日(土) 9時00分～15時00分／体験参加者10名 @市民農園 KAZAMIDORI (京都市伏見区深草) 周辺の竹林、農園
活動のふりかえり	2022年6月13日(月)～17日(金) 随時／体験参加者全員 @各キャンパスのボランティア・NPO 活動センター

## 1. 概要

### 【団体の話を聴こう】

代表の杉井さんから深草地域の竹林整備や農業における課題や活動に対する想い、同団体で定期的に活動している深草の学生スタッフの経験を聴きました。

### 【ボランティア体験】

市民農園 KAZAMIDORI にて活動の説明を受けた後、壊れた小屋の片付けと、新しく開墾する畑の整備作業を行いました。

## 2. 参加者の声・得られた効果など

- ・モグラ対策や竹林の整備など、いろいろな試行錯誤を重ねて活動していることを杉井さん自身が楽しそうに語っているのを見て、本気で楽しんでるのがわかりました。自分も体験に参加して楽しさを発見したい。

- ・無農業の具体的な方法や農業従事者が少ないための工夫など、農業の細かなところまでを学ぶことができた。農繁期のなどに自分も継続して活動したいと考えている。



ボランティアプログラム先	森の風音
団体の話を聴こう	2022年6月2日(木) 17時15分～18時30分／参加者21名 @瀬田キャンパスおよびオンライン
ボランティア体験	2022年6月19日(日) 9時00分～15時00分／参加者11名 @滋賀県立びわこ文化公園 西ゾーン
活動のふりかえり	2022年6月20日(月)～28日(火) 随時／体験参加者全員 @各キャンパスのボランティア・NPO 活動センター

## 1. 概要

### 【団体の話を聴こう】

代表の本学社会学部教授の金子龍太郎先生から、公園の整備活動に対する想いなどお話しを聴いた後、この団体でボランティア経験のある瀬田の学生スタッフが自身の経験した活動やその魅力について話しました。

### 【ボランティア体験】

のり面の除草とシャガ植栽、笹草（ササクサ）の除草等、4つのグループに分かれ、森林整備の活動を行いました。その後、公園内の整備に取り組みされたエリアを案内していただきました。

## 2. 参加者の声・得られた効果など

- ・以前びわこ文化公園に行ったことがあり、とても過ごしやすい場所だったため、本日のお話を聞いて自分もその環境整備を手伝いたいと感じました。
- ・森林保全の大切さを感じることができた。休憩中にも団体の方と話をし、活動を始めたきっかけがレイカディア大学と聞き、シニア向けの学びの機会があることを知れたりもした。



ボランティアプログラム先	NPO 法人 CASN (晴嵐みんなの食堂)
団体の話を聴こう	2022年6月3日(金) 17時15分~18時30分 / 参加者26名 @瀬田キャンパスおよびオンライン
ボランティア体験	2022年7月2日(土) 13時30分~20時00分 / 参加者2名 2022年8月6日(土) ※感染拡大により中止 @栄町第三自治会館(滋賀県大津市)
活動のふりかえり	2022年7月5日(月) / 体験参加者全員 @各キャンパスのボランティア・NPO 活動センター

## 1. 概要

### 【団体の話を聴こう】

代表の谷口さんから CASN の取り組みについてお話しいただいた後、滋賀県社会福祉協議会の栗野さんから県内の子ども食堂や多様な取り組みについてお話しをいただきました。その後、瀬田の学生スタッフが活動の中で経験したことやその魅力について話しました。

### 【ボランティア体験】

準備や打ち合わせの後、子どもたちと一緒に遊び、一緒に食事をしました。この日はスライムづくりの活動が用意されており、子どもと学生が一緒になって体験をしました。

## 2. 参加者の声・得られた効果など

- ・「子どもは人生を共にするパートナー」という言葉がすごく響きました。子ども食堂に対してのイメージが変わり、共に遊び、ごはんを食べていく

中で、子どもたちの気持ちや環境を教えてもらう場だと思いました。

- ・輪に入っていくのが得意ではなく、チャレンジで参加した。時間がおしていたので皿洗いどの片付けを協力して取り組む必要があると思い自発的に動いた。ここは基盤がしっかりしていそうだが、基盤が弱い子ども食堂はどのように運営しているのか気になった。



事業名	自分たちの活動をパワーアップするには？ ～Z世代のリーダーから学ぶリーダーシップとフォロワーシップ～
実施日時	2022年8月5日（金）13時30分～16時00分
場所	瀬田キャンパス 3号館107教室
協力団体等	#みんなの生理 共同代表 谷口歩実さん
参加人数	46名

## 1. 経緯・目的

構成員が学生中心のボランティア団体や、サークル活動、ゼミ活動などでは、「メンバー内でなかなか意見を言い合えない」「何かプロジェクトをする時、特定の人に負担がかかっている」「グループLINEやミーティングで全体に呼びかけることはできて、個別に声をかけるのは難しい」「新しいことに取り組みたいけど、何から始めたらいいのかわからないから、既にある活動に留まっている」などと感じ、悩んでいることがよくあります。

グループ活動を円滑に進めるには、リーダーシップとフォロワーシップの両方が必要です。学生と同世代の方から、活動を立ち上げたきっかけや仲間とのコミュニケーション、活動を進める中で工夫したことや悩んだことなどを聴き、自分たちにも活かせる点を見つけることを目指して本講座を実施しました。



ボランティア・NPO活動センター  
【ボランティアリーダー養成講座】

### 自分たちの活動をパワーアップするには？

Z世代のリーダーから学ぶ  
リーダーシップとフォロワーシップ

構成員が学生中心のボランティア団体や、サークル活動、ゼミ活動などに取り組む中で、次のように感じて悩んでいることはありませんか？  
「メンバー内で、なかなか意見を言い合えない」「何かプロジェクトをする時、特定の人に負担がかかっている」「グループLINEやミーティングで全体に呼びかけることはできて、個別に声をかけるのは難しい」「新しいことに取り組みたいけど、何から始めたらいいのかわからないから、既にある活動に留まっている」など…

グループ活動を円滑に進めるには、リーダーシップとフォロワーシップの両方が必要です。皆さんと同世代の方から、学生時代に活動を立ち上げたきっかけや仲間とのコミュニケーション、活動を進める中で工夫したことやうまくいかなかったことなどを聴き、自分たちにも活かせる点を見つけよう！

実施日時：2022年8月5日（金）13:30～16:00  
場 所：瀬田キャンパス3号館107教室  
対象：大学のワークショップ形式を予定していますが、大学の活動制限レベルによってはオンラインに変更する可能性があります。

定 員：50名 定員になり次第締め切り  
参加対象者：テーマに関心のある瀬田大学の学部生 ※参加費無料  
講 師：谷口 歩実さん（#みんなの生理 共同代表）※プロフィールは裏面

申し込み・留意について

申し込みはこちら → 

どうしてもこのフォームからの申し込みができない場合は、以下のメールアドレス宛に、「#みんなの生理」事務局へメールでご連絡ください。申し込みは、センター窓口へ直接お越しください。

ボランティア・NPO活動センター  
メールアドレス：rvuunc@ad.rvukoku.ac.jp（深草・瀬田の共通アドレスです）



## 2. 概要

以下のプログラム構成で行いました。

- ①講師自己紹介と#みんなの生理の活動内容紹介
- ②なぜ活動をするのか？：「原体験」→「価値観」→「行動」という流れで、グループのメンバーと共通の価値観を見つけるというワーク
- ③良いチームを作るためには：活動を一文で表した文を作り、全員が気持ちよく活動するためのルールや明確な役割分担、目指すリーダーシップの在り方などを考える
- ④活動のステップ：計画を立て→実行し→評価とお祝いをする という流れの中でのポイントレクチャー
- ⑤まとめ

## 3. 参加者の声・得られた効果など

- ・共通の価値観を持つために、一人一人が意見をしっかりと述べ、話し合うことがどれほど大切かということに改めて知りました。時間がないからと疎かにするのではなく、とことん話し合いをし、活動する上で共通の価値観を見出すことをこれから意識していきたいと思います。〈文学部4年生〉
- ・リーダーに求められることは責任を負うことではなく、みんながリーダーと同じくらい責任を持って自律的に行動できるような環境づくりをすること。組織で活動をする際は何のために行動するのか、しっかり最初にみんなの心に刻むことなんだと感じました。〈社会学部3年生〉



- ・自分も参加していることを意識して、まとめる立場になくても自分に何ができるか役割を考えていこうと思いました。〈社会学部1回生〉

#### 4. コーディネーター所感

参加者自身が自分たちの活動と向き合うため、個人ワークやグループワークの時間を数回設ける中で、

谷口さんには同世代だからこそその響く言葉でお話しいただきました。#みんなの生理の活動の傍ら、さまざまなメディアに出演されたりとお忙しい中、この日のために準備いただき心よりお礼申し上げます。

〈報告者：ヒギンズ 尚美

(瀬田キャンパス コーディネーター)〉

事業名	チームを運営するコツ講座～仲間づくりは最初が肝心！～
実施日時	2023年2月2日(木) 13時30分～16時30分
場所	深草キャンパス 22号館302教室
協力団体等	財団法人京都 YMCA 事業部長 中村彰利さん
参加人数	51名

### 1. 経緯・目的

コロナ禍による行動制限があった時は、学内外でのリアルな活動が制限されていたため、課外活動では先輩から後輩への引継ぎなどが十分に行うことができなかつたとの声をよく聞きます。今年度は制限レベルが緩和されてさまざまな活動が戻ってきたものの、手探りですすめているサークルも少なくなかつたと思います。

悩んで手探りで進めた活動を後輩や新メンバーに繋ぐため、より充実した活動・チームにするために必要なことは何か？代替わりをして新歓に向けて準備する時期に、学生ボランティアグループの育成に関わる方からのお話やグループ運営についてのワークショップを通して、一緒に考える講座を開催しました。

### 2. 概要

以下のプログラム構成で行いました。

- ① YMCA 紹介と講師自己紹介
- ②参加者同士の自己紹介タイム  
(A4用紙一枚に4つの項目を書く作業)
- ③4人グループで4人×90秒の自己紹介タイム
- ④イベント企画を考える中で、人集めから本番までの流れに沿って、チーム運営で配慮しておきたい点を整理するワーク
- ⑤グループごとにプレゼンタイム 2分×13グループ
- ⑥まとめと困りごとへの一問一答タイム

Yokohama University  
学生団体新旧代表・サークル幹部・チームリーダー必見

## チームを運営するコツ講座 ～仲間づくりは最初が肝心！～

行動制限があった時は学内外でのリアルな活動が制限されていたため、先輩から後輩への引継ぎなども難しかったのではないのでしょうか。今年度は制限レベルが緩和されてさまざまな活動が戻ってきたものの、手探りですすめているサークルも少なくなかつたと思います。  
学生ボランティアグループの育成に関わる方からのお話や、グループ運営についてのワークショップを通して、より充実した活動・チームにするために必要なことを一緒に考えてみませんか？  
悩んで手探りで進めた活動を、後輩や新メンバーに繋ぐために！

実施日時: 2023年2月2日(木) 13:30～16:00  
場 所: 深草キャンパス22号館302教室 対面実施(ワークショップ形式)  
定 員: 50名 定員になり次第締め切り  
参加対象者: テーマに関心のある龍谷大学の学部生・短期大学部生 ※参加費無料  
講 師: 中村 彰利さん (『京都YMCA』事業部長) ※プロフィールは裏面

「積極的な活動仲間を、新歓で増やしたい!」と思っている人、サークルや学生団体の新旧代表、チームリーダーなどは必見!

申し込み・お注意について

申し込みはこちら →

どうしてもこのフォームからの申し込みができない場合は、以下のメールアドレス宛に、「2/2ボランティアリーダー養成講座参加申込」という件名でメールを送信してください。もしくは、センター窓口へ直接お越しください。

ボランティア・NPO活動センター  
メールアドレス: ryuyvc@ad.ryukoku.ac.jp (深草・瀬田の共通アドレスです)





### 3. 参加者の声・得られた効果など

- ・ミーティングごとに目的を確認することの重要性を認識できたので、これからのミーティングでも取り入れ、出た意見が目的に沿っているかという観点から考えていきたいです。 〈一般同好会〉
- ・人数が多い部活なので、担当ごとのグループに分けてそこに統括させる体制を、より強くとるべきだと考えることができました。  
〈学友会学術文化局〉
- ・チームをまとめるのに全体の意見を聞くことは大切であるが、全てをまとめようとしなくてよいということを聞いて、気が楽になった。  
〈学部所属の学生団体〉
- ・みんなが参加しやすいような環境を作り、定期的にミーティングをしていこうと思いました。  
〈学内部署（学部以外）の学生団体〉
- ・メンバーが長期的に活動へ携わり続けるには、面白い活動をする事、そして長期の活動ビジョン

をしっかりとつことが大事だ、というお話が印象に残りました。

〈ボランティア・NPO 活動センター学生スタッフ〉

### 4. コーディネーター所感

ボランティアグループでもそうでなくても、特に学生団体は組織運営という点でどこも似たような悩みを抱えています。センターではこういった組織運営系の講座を従来から実施しており、学生スタッフ以外の龍大生の参加がそれほど多くはなかったのですが、今回は広報等を工夫して参加割合がほぼ同等となりました。より趣旨に合った開催になったと共に、当日はメディア取材も入り、学生たちにとって講座テーマに取り組むモチベーションにも繋がったのではないかと感じています。

〈報告者：ヒギンズ 尚美

（瀬田キャンパス コーディネーター）〉

事業名	ボランティアコーディネーション力3級検定 ～ボランティアをより深く理解し、豊かな活動とするために～
実施日時	2022年10月22日（土）10時00分～18時00分
場所	深草キャンパス 22号館101教室
実施主体	ボランティア・NPO 活動センター／ 特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）
参加人数	学生26名、教職員1名 学外者3名 合計30名

### 1. 経緯・目的

「ボランティアコーディネーション力」は、既にボランティア活動をしている人や将来ボランティアと関わる進路を目指す人、そして学内でボランティア紹介等をおこなう当センターの学生スタッフなどに求められる力であり、ボランティア関係者だけでなく、自治体職員や企業の社会貢献部門の方、施設職員なども多数受験している資格となっています。

このことから、本学学生・教職員および一般の方がボランティアコーディネーションへの理解を深め、実践的な取り組みの担い手として活動する力をつけることを目的として、学内で実施しました。

### 2. 概要

#### ○受験資格など

要件：ボランティア活動経験があるか、ボランティアコーディネーション経験またはその予定があること

受験料：JVCA 主催検定価格12,000円のところ、本学学生は6,520円で設定（大学より補助）

#### ○当日の流れ：

#### 1. 直前研修（講義）10時00分～16時30分

序章 今なぜ、ボランティアコーディネーション力なのか？

1章 ボランティアの理解

2章 ボランティアコーディネーションの理解

#### 2. 検定試験 17時00分～18時00分

- 講師：筒井 のり子さん（JVCA 運営委員、本学社会学部教授、ボランティア・NPO 活動センター長）  
 早瀬 昇さん（JVCA 運営委員、大阪ボランティア協会理事長）

日本ボランティアコーディネーター協会 共催 RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学生は、補助あり！

ボランティアコーディネーション3級検定

3級検定を深草キャンパスにて開催

ボランティアをより深く理解し、豊かな活動とするために

ボランティア活動の広がりにかかせない、「ボランティアコーディネーション力」を、市民の「参加の力」を活かし、組織の発展や自治的な社会づくりを進める調整能力は、ボランティアリーダーやNPO、施設のスタッフ、それに自治体職員など多くの人々に求められる資質です。以下のいずれかに該当する方は、ぜひ資格取得を目指してください。

これまでにボランティア活動の経験がある。      これまでに地域社会、組織（施設・機関、NPOなど）において、ボランティアコーディネーションに関わった経験がある。      ボランティアコーディネーションに関わる予定がある。

日時：2022年10月22日(土)  
 10:00～18:00  
 (直前研修 10:00～10:30、検定試験 17:00～18:00)

場所：龍谷大学深草キャンパス  
 22号館101教室

定員：30名(先着順)

申込締切：2022年10月7日(金)  
 ※申込締切を過ぎますと、お申し込みできません。

直前研修 講師  
 筒井のり子      早瀬 昇  
 龍谷大学社会学部 教授      大阪ボランティア協会 理事長

◎受験資格【※年齢は問いません】(1)と(2)の両方に該当している方。(両面も必ず確認してください)

(1) ①②③のいずれかに該当していること。  
 ① これまでにボランティア活動の経験がある。  
 ② これまでに地域社会、組織（施設・機関、NPOなど）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある。  
 ③ ボランティアコーディネーションに関わる予定がある。  
 ※ボランティア活動の申込書に、具体的な経験、内容を記載してください。

(2) ④の経験が証明できること。  
 ※申込完了後、テキストと受験票をお送りいたします。  
 テキストを使用した直前研修終了後、検定試験を行います。（検定試験の日の参加申込はできません）  
 ※出題内容が一次筆記試験（40分）、口頭試験（10分）の2段階です。合格ラインは90%以上を必要とします。  
 ・試験料：500円、検定料：600円、合格料：700円以上（1000円未満）

【問い合わせ先】 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

### 3. 受験者の声

ボランティアに行きたい人の思いと、来てほしい人の思いがずれることなく繋がることは、実は様々な調整が必要なのだという事に気付かされる機会になりました。この「調整」は繋ぐという役割がある私たちが、ボランティアを勧める意味と両方の立場の思いを理解して伝えることだと私なりの考えも持つようになりました。学生スタッフとして、ここで学んだことを忘れず役立てながら活動していくことが私の目標です。

〈社会学部1回生〉

### 4. コーディネーター所感

今年の直前研修は、検定テキスト著者2名から直接講義を聴ける貴重な機会となりました。休憩を入れながら10時から18時まで長時間の拘束となるタフなスケジュールでしたが、受験者たちは真剣な表情で受講し検定に臨みました。今回学んだことは、今後自身がボランティア活動を続ける時や、将来の仕事でボランティアと協働していく時に生きていくよう願っています。

〈報告者：ヒギンズ 尚美

（瀬田キャンパス コーディネーター）〉